

## 施設長挨拶

～感謝～

令和 4 年度も 4 ヶ月が過ぎ、例年より早い梅雨明けもあり猛暑日が続くなか、子どもたちは夏休みに入りました。そんな中で施設行事、ユニット行事を夏の思い出作りとして楽しみにしていましたが、新型コロナウイルスの第 7 波による感染が急速に拡大していたため、当初予定していたユニット行事は中止し、はなこみち祭りも外部の方々はお招きせず、職員・子どもたちのみとして開催しました。

各ユニットの行事も中止とした中で、職員一同が、日々のルーティンや夏休みの課題の進み具合などの学習支援を行いながら子どもたちの安全を確保しつつ、肝試しや映画鑑賞会などを企画し、少しでも子どもたちが楽しく潤いのある生活を送れようと、アイデアを出し、この夏の思い出作りを担ってくれました。子どもたちのコロナに対する現状の理解とユニット行事が中止になったことの理解や職員の企画、実施と協力に“感謝”の気持ちでいっぱいです。

施設長 八須 治

## 七夕まつり

今年の 7 月 7 日の七夕行事では、前任の大澤施設長より立派な笹をいただき、児童と職員で将来のことを短冊に書き笹に飾りました。

短冊には「大金持ちになりたい。」「身長を伸ばしたい。」「野球選手になりたい。」「友達とずっと一緒にいたい。」など夢いっぱいの様々な児童の願いを飾られ、短冊を飾るお手伝いをしてくれた児童は、自分の夢について職員に語っていました。子ども達が大人になる姿を思い浮かべると職員一同、期待に胸が膨らみます。

来年は、コロナウイルスが終息して児童がより一層伸び伸びと生活できること願っています。

指導員 吉田



# はなこみちまつり

コロナウイルスの影響で地域の方々は招待せず時間も短縮し施設内のみでの開催となりましたが、天気にも恵まれ、夏休み期間中の一大イベントとして行うことが出来ました。

今年度は二部構成でお祭りをを行い、一部では屋台をメインにフードコーナーとゲームコーナーでそれぞれ分かれて実施しました。かき氷やフランクフルト、射的やヨーヨー釣りなど児童が自由に回り楽しんでいる姿が見られました。また夕食を挟み 19 時から行った二部では手持ち花火を実施しました。ユニットごとに集まり、線香花火で誰が一番長く燃えるか競ったり、それぞれのユニットで円を作り噴き出し花火を鑑賞するなど夏ならではの季節を感じられる時間となりました。

保育士 須賀



## プール行事



はなこみちでは、8月に深谷市内のパーティオに行きました！パーティオには、流れるプールや、波のプールなど様々な種類のプールだけでなく、サウナなどのレジャーがあります。私と一緒に参加した小学生は、広々とした遊びの空間に目を輝かせていました。

来年こそは、川や海などの行事が実施できたらいいな。と思いながら、帰りの車で子ども達と話を広げました。そんな、話をしている最中に、うとうととしている子ども達も数人おり、子どもたちはいつもよりも、早く寝てしまったような気がします。来年も楽しみです。

指導員 阿部

## 実習生からの言葉

私は児童養護施設の実習を通して学んだことが沢山ありました。それはイメージしていた施設とは全く違うということです。実際に実習をすると、雰囲気や多くの児童が明るく、一人ひとりがのびのびと生活ができる場所でした。職員と児童が関わるなかでも信頼関係が築けており、児童の職員への話し方などが少し違い、気楽に話しかけていることが印象的でした。この実習を通して、多くの児童が笑顔で積極的に話しかけてくれ遊んだり話したりして楽しく関われ、児童養護施設での印象が変わるとても良い実習になりました。

武蔵野短期大学 実習生

児童と一緒に関わってみると、とても明るい児童が多く、たくさん会話をしてくれました。最初の印象とは全く違い、この10日間で一人ひとりの児童と関わり信頼関係を築くことができたので嬉しかったです。また、児童と直接関わるだけでなく、間接的な関わりとして掃除や洗濯など身の回りの世話や支援機関との連携もすべて児童のためだと知りました。自分の行動はすべて児童が見ているので、直接的な関わりだけが重要でないことも知ることができました。一つひとつの関わりに責任があるのだと学べてよかったです。

武蔵野短期大学 実習生

# 職員インタビュー

## ぷちとまと 原 徹也



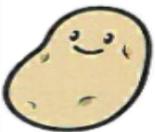
- ① どんな子供時代を過ごしていましたか  
私の子ども時代は活発でした。夏休みには、毎日友人と虫を捕まえに行ったり、公園で遊んだり、友人宅でゲームをして遊んでいました。
- ② 休日の過ごし方  
友人とポケモンカードをして過ごしています。
- ③ ユニットで思い出に残った出来事  
ぷちとまとのユニットのみんなとリビングに寝頃がって映画を見たことです。
- ④ 子どもたちに伝えたいメッセージ  
将来大きくなった際に子どもを見たら自身の成長と懐かしさを感じる大人になって欲しいなと思います。

## 事務所 田高 雄一



- ① どんな子供時代を過ごしていましたか  
私の小学校時代は自然を相手にして遊んでいた“のどかな時代”でした。夏休みの過ごした思い出は、麦わら帽子をかぶって友人たちとセミを捕まえたりして、顔は真っ黒に日焼けしていました。
- ② 休日の過ごし方  
休日は友人と山に出かけたりしています。今年の2月はアイゼンを履く初体験をしました。日光にある雲竜溪谷にスノートレッキングに行き、120mを超える氷瀑や氷壁を観て、自然の織りなすダイナミックさに感動を覚えました。
- ③ 子どもたちに伝えたいメッセージ  
辛いことも沢山ありますが諦めずに続けることが大切です。最後までやり通す強い信念を抱いてください。

## ユニット通信



### そらまめ 指導員 野村 駿弥

今年はコロナウイルス緩和に伴い、深谷市主催の七夕祭りが開催されました。

幼児さんは初めてのお祭りにテンションが上がっていましたが、人の多さに戸惑う子どもいれば屋台の食べ物をお腹いっぱい食べている子もいて、満足そうな表情を浮かべていました。

また、7月7日に施設行事として七夕を行い短冊にそれぞれ自由に願い事を書き各々の夢を考えて将来、僕は鬼になりたいといった幼児さんもいて、幼児さんらしい夢に気持ちがあみましました。

### もろこし 保育士 新井 沙彩

7月末から夏休みに入り、夏休みを利用し苦手な勉強に取り組んでいる姿、この時期にしかできない水遊び、お祭りを楽しんでいる姿、様々な表情が見ることができました。

また、子どもたちと過ごす時間も増えたために子どもたちにしかない新たな発見や考え方に多く触れ、毎日あっという間に1日が過ぎます。子どもたちの考え方にハッとさせられることも多々あり、子どもたちにはほんの少しでもいいので大人になっても大切にとっておいてもらいたいと思います。

# 行事予定(7月・8月・9月)

7月	8月	9月
2日(土) 防災訓練	4日(木) 運営会議	2日(金) A棟会議
3日(日) パティオ行事	9日(火) 職員会議	3日(土) 防災訓練
5日(火) 運営会議	13日(土) はなこみちシアター	7日(水) 運営会議
7日(木) A棟会議	15日(月) はなこみちまつり	8日(木) B棟会議
8日(金) C棟会議	23日(火) 絵本読み聞かせ	13日(火) 職員会議
11日(月) 全体ケーススタディー	25日(木) リーダー会議	15日(木) C棟会議
12日(火) 職員会議	28日(日) (小.中) 夏休み終了	22日(木) リーダー会議
14日(木) B棟会議	29日(月) (小.中) 2学期始業式	
20日(水) (小.中) 1学期終業式		
28日(木) リーダー会議		

## 避難・消火訓練

「備えあれば憂いなし」

毎月一度、火災を想定した防災の為に避難・消火訓練を各ユニット持ち回りで実施しています。

また、年に1回、施設全体で総合防災訓練を実施しています。

職員としては、子供達にも火事の怖さ・地震の恐ろしさ等を伝えながら、緊張感を持って訓練にあたるように努めています。

実際に災害等がなく、訓練だけで済むように日々願うばかりです。

## 災害時避難場所を提供！

緊急時は避難所として地域に開放しています。

- ① 防災倉庫
- ② 備蓄食糧 (1,000食)
- ③ テント (3張)・寝袋 (10人分)
- ④ 地域交流センター開放  
(スポーツ少年団・地域ボランティア団体等)
- ⑤ AED・非常用発電機等の機材
- ⑥ 非常用トイレキット (500回分)
- ⑦ 救命胴衣 (大人用5個・こども用5個)
- ⑧ 救命用浮き輪
- ⑨ 簡易エアマット (20人分)・簡易寝袋 (20人分)
- ⑩ バーベキューセット (8台)

## ボランティアサークル花小路会員募集あなたも活動してみませんか？

児童養護施設はなこみちを支援するボランティアサークルです。遊びや学習、生活支援などを中心に実施しています。お気軽にお電話ください。(048-574-3146 担当八須)

## 報恩感謝・善意の寄付

- ・ 吉本興業株式会社 様
- ・ NPO 法人 RBA インターナショナル 様
- ・ 株式会社チュチュアンナ 様
- ・ NPO 法人 CAP センター・JAPAN 様
- ・ 株式会社カーフスジャパン 様
- ・ 心 Reborn 協会 代表理事 Kayamado 様
- ・ 株式会社 Daska&Desiree 様

## 編集後記

7月に入り、いろいろな行事が夏休みに予定されていましたが、コロナウイルスの影響で中止になっている行事もすでにあり、子どもたちの我慢する場が増えていきます。開催できる行事を目いっぱい楽しんで思い出を作りましょう。

(広報担当より)